

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 福島県須賀川市立長沼中学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注 1</sup>

☒ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注 2</sup> ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他 (例: 小中高一貫 )

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒 9 6 2 - 0 2 0 1

福島県須賀川市志茂字六角 5

E-mail naganuma-j@fcs.ed.jp

Website http://www.sukagawa.gr.fks.ed.jp/?page\_id=214

児童生徒数 男子 79 名 女子 76 名 合計 155 名

児童・生徒の年齢 13 歳 ~ 15 歳

## 2. 報告期間

平成 2 9 年 4 月 ~ 平成 3 0 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 3 0 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

### (1) 活動の概要

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「自立・友情・強健」を学校理念として掲げ、その中で E S D を総合的な学習の時間の最優先目標と捉え、E S D の実践を通して問題解決力や主体的な探求力の育成を目標とした。

具体的には、1 年の「江花川水質調査活動」、3 年の「長沼まつり」を柱に、①地域の環境に係わる活動、②郷土行事に係わる活動を行った。

### ① 地域環境に係わる活動

「江花川学習」とは、総合的な学習の時間の一環として、毎年江花川に生息する水生生物から水質を調べ故郷の自然環境について学習する。

○ 長沼地区の地質・水質関係の事前学習 (地元「遊水会」の協力)

○ 河にすむ生物の採取・同定と水質調査 (地元「遊水会」、有志の方々の力)

< 内容 >

江花川の自然体験学習 ⇒ **連帯意識の向上・忍耐力育成・協調性の向上**

・長沼地区の地質・水質関係の事前学習

・河にすむ生物の採取・同定と水質調査

## ② 郷土行事に係わる教育

本校がある須賀川市長沼地区では、今年で33回を迎える伝統的な「長沼まつり」が毎年開催されている。この祭りは、地元の商工会はもとより、J A、協賛団体、学校が参加する祭りである。

本校は平成12年から継続して参加しており、3年生が中心となり「ねぷた」の制作やまつりの後片付けを積極的に行っている。

当日は、3年生が「はねと」と呼ばれる踊り手として、また1・2年生は自主的にのぼりを持ち行進に参加している。

<内容>

- ・ねぷたの共同制作 ⇒ **連帯意識の向上・忍耐力育成・協調性の向上**
- ・ねぷた参加代表あいさつ、ねぷた制作毛筆の浄書（国語）
- ・完成までの日取りの計算、人数の割り振り、ねぷたの寸法計算（数学）
- ・ねぷたの設計、張り子の用紙の設計、色塗り、蠟抜きの作業（理科）
- ・ねぷたの事前学習と広報活動 ⇒ **伝統芸能への理解の深化**
- ・「長沼まつり」の歴史の研究、長沼の地域の歴史・地域の研究（社会）
- ・日本の伝統文化のHPによる発信（英語）
- ・よさこいおどりの練習（保健体育）
- ・長沼まつり「ねぷた」の参加 ⇒ **地元への帰属意識の高揚**
- ・長沼まつり準備（のぼりや会場準備）と事後（後片付け）の3年生の参加



① 江花川水質調査活動（採取）



① 江花川水質調査活動（判定）



②長沼まつり（ねぷた完成）



②長沼まつり（よさこい・跳ね人）

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

青森県ねぶた DVD （日本の火まつり 青森ねぶた「熱舞台」: RAB 企画）
---

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ユネスコスクールとして持続可能な社会への取り組みを総合的な学習の時間に位置付けている。教育課程の中で目標を「主体的に活動し、自ら課題解決できる生徒の育成～地域の特性を生かした活動を通して～」と設定し、各学年ごとにテーマを掲げて取り組んでいる。

指導内容は、１年で水質調査を通し地域の環境を認識させることでその環境を持続するための課題を考えさせる内容と３年の郷土のまつりを通し地域の現状や課題を考えさせ、地域を持続的に発展させる課題を考えさせる内容である。

毎年各学年で活動後、時期、校外との交渉、準備、企画などを反省し改善策を講じて次年度のスタッフに引き継ぐように工夫している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校務運営機構内に各学年ごと総合的な学習の時間の担当者を設定し、１年の江花川水質調査活動や３年の長沼まつりのねぷたづくりやよさこいの指導を担当する。実施内容も含めて次年度に引き継いで担当者が変わっても対応できるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評価において教職員や生徒、保護者へのアンケートを実施し、経年変化をデータ化して評価している。特にユネスコスクールとしての活動を通して、①地域を見つめて更に発展させる手立てを考える力、②地域活動に参加することで郷土愛を育むことが成果として挙げられる。課題は、学習した内容をどのように発信していくかである。HP や学校だより等で教職員は地域や外部へ実行内容を発信しているが、生徒自身がどのような方法で発信させていくかが課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

④でも述べたように、HPや学校だよりなどで外部へ発信している。また、地域の行政区ごとの回覧にも学校だよりや発表資料を掲載している。その結果、ユネスコスクールとしての学校の取り組みの認知度は高い。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

1年の江花川水質調査活動では、地域の「遊水会」という河川水質環境調査市民団体が中心になって取り組んでいる。メンバーは全員が地域住民であり、自主的に地元の河川の調査を行っているNPOである。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

地域にはユネスコスクールの小学校(須賀川市立白方小学校)がある。教職員が研究発表会等で交流している。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

3年生の「長沼まつり」のねぶた製作では地域住民がボランティアで製作指導を行っている。毎年時期的なものも含めて学校へ足を運び、完成するまで地道に指導して頂く。そのことで、生徒達が郷土の伝統や歴史を感じ取り、郷土への愛を育むきっかけになっている。

（3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

平成30年度も今年度と同様に、1学年は7月に江花川水質調査活動を取り組ませる予定である。ちょうど梅雨時と水生生物の数量が多くなる時期が重なり、雨の影響が考えられるが、平成30年度も同じ時期に実施予定である。

3学年は今年度と同様に、「長沼まつり」への参加を予定している。ねぶたの製作も計画も含めて年度初めに開始し、7月中にねぶた完成を目指している。また、同時に跳ね人踊りも練習し当日のまつりで披露する予定である。